

令和4年度京都市立学校教員採用選考試験（動画）

「現職教員の声（支援）」発言概要

進行役	<p>こんにちは。</p> <p>私は京都市教育委員会教職員人事課の石橋と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。本日は京都市の教員を志願する方々に向けて、現職教員の先生方のお声をお聞かせいただきたいと思います。では早速、「学校名」と「職名」、「お名前」をお願いします。</p>
橋本	<p>はい。桃陽総合支援学校で教諭をしております。橋本 瑞希と申します。よろしく申し上げます。</p>
進行役	<p>よろしく申し上げます。</p> <p>ではまず初めに、教員を志したきっかけについて、教えてください。</p>
橋本	<p>はい。学校の先生を初めて志したのは、中学校の先生の言葉がきっかけでした。「ひとりで叶えられる夢の数は限りがあるけど、学校の先生は、みんなの夢の一部を叶えることが出来るから、とつてもたのしいし、幸せな職業だよ。」という言葉がとても印象に残っています。</p> <p>高校生の時も、生徒ひとりひとりに寄り添いながら熱心に指導して下さる先生方に出会うことで、私も学校の先生の一員になりたいなと想いを強く持つようになりました。</p>
進行役	<p>その中で、なぜ総合支援学校を目指されたのですか。</p>
橋本	<p>はい。京都市の総合支援学校の先生になりたいなと思ったきっかけは、京都市の学生ボランティアに参加していたことがきっかけです。そこの学年団の先生がご自身の得意なことを活かしながら、チームで子供たちに関わっておられる姿を拝見して、その姿がとっても明るく素敵に感じましたので、私も京都市の支援学校の先生になりたいなという思いを持ちました。</p>
進行役	<p>最近では、教員の働き方改革が注目されているのですけれども、橋本先生の実践や、またご自身が勤められている学校の実践など教えてください。</p>
橋本	<p>はい。毎週金曜日にエコオフィスデーを設定して、学校全体で早く帰る取り組みをしています。また学部内で、「今日は〇時に退勤！」ということを教員同士で声に出して、早く帰れる意識付けをしています。またその中で、「私たちに何か出来ることはありませんか」と声を掛け合うことも多くあるので、学部内の雰囲気も明るくあたたかく感じています。</p>
進行役	<p>「早く帰るぞ」という声を掛け合うくらいの仲の良さというのは伝わってきたんですけれども、職員室はすごく賑やかな感じなんですか。</p>
橋本	<p>そうですね。子供たちが帰った後も、今日の子供の様子であったりとか、色んな出来事を気さくに話し合いながら、楽しくわいわい仕事をしていま</p>

	す。
進行役	<p>ありがとうございます。</p> <p>ワークライフバランスの充実に向けて、橋本先生が趣味であったり、仕事の ON・OFF をどのように工夫をされているか教えてください。</p>
橋本	<p>はい。子ども達と毎日接する中で、どうしても頭の中がお仕事でいっぱいになってしまうこともあります。そういう時は、今やるべきことを紙に書き出して、優先順位をつけるようにしています。そして、今日はここまでは頑張ろうという内容を決めて、お仕事をするようにしています。そうすることで「今日も頑張れたな。」という気持ちになりますし、明日すべきことの見通しも持つことができます。</p> <p>また、お家に帰った後も「何か短い時間でできるじぶんの楽しみを用意しておくことで、お仕事とプライベートの ON・OFF の切り替えに役立てています。</p>
進行役	<p>京都市では、学び続ける教員を全力で応援していますが、橋本先生は研究会に所属をされているということなんですけども、どのような活動をされているのか教えてください。</p>
橋本	<p>私は発達障害研究会に加入しています。この研究会では、各校が学習会を企画する機会があります。私が学校幹事を担当させていただいたときには、研修会を行うために、日程の調整であったり、会員の先生の連絡であったり、事後アンケートなどを研修会を行う上で、必要な事は何かということ学ぶことが出来ました。また研修の内容を考えることで、自分自身の知識も深めることができたように感じています。</p>
進行役	<p>では最後の質問になります。</p> <p>「これから京都市の教員を目指す受験生に一言」お願いします！</p>
橋本	<p>はい。忙しい毎日ですが、子ども達の素敵な姿や、新しい発見があるお仕事だなと思っています。ぜひ自分の力を信じて頑張ってください。応援しています。</p>